槻木五間堀1号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2022	予防保全	更新	高欄・防護柵	交換	9.m	0.63
		更新	地覆	打換え	24.㎡	1.10

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　67.5百万円
修繕費：　8.62百万円

白坂堀6号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用

※今後5年間の補修・更新の予定はありません。

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　10.62百万円
修繕費：　2.08百万円

白坂堀7号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用

※今後5年間の補修・更新の予定はありません。

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　6.48百万円
修繕費：　2.29百万円

白坂堀5号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用

※今後5年間の補修・更新の予定はありません。

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　13.4百万円
修繕費：　4.06百万円

白坂堀4号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用

※今後5年間の補修・更新の予定はありません。

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　37.2百万円
修繕費：　4.17百万円

五合田堀5号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	27.22㎡	0.16
				ひび割れ補修	9.53m	0.10
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.14㎡	0.35
				足場工	27.22㎡	0.19

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　13.61百万円
修繕費：　1.08百万円

五間堀左岸3号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	23.95㎡	0.14
				ひび割れ補修	8.38m	0.08
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.12㎡	0.31
				足場工	23.95㎡	0.17

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　11.98百万円
修繕費：　5.42百万円

関根堀6号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	47.㎡	0.28
				ひび割れ補修	16.45m	0.16
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.23㎡	0.60
				足場工	47.㎡	0.33

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　23.5百万円
修繕費：　7.24百万円

関根堀8号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	床版	ひび割れ補修	2.94m	0.03
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.04㎡	0.11
				足場工	8.4㎡	0.07
2023	予防保全	補修	下部工	表面保護	15.3㎡	0.08
				ひび割れ補修	4.41m	0.05
				断面修復（ポリマー系モルタル）10～15%補修	0.09㎡	0.24
				足場工	6.3㎡	0.03
2025	予防保全	補修	主桁	表面保護	8.4㎡	0.05
				ひび割れ補修	2.94㎡	0.03
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.04㎡	0.11
				足場工	8.4㎡	0.06

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　6.3百万円
修繕費：　10.49百万円

三本木堀5号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	40.73㎡	0.24
				ひび割れ補修	14.26m	0.14
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.2㎡	0.52
				足場工	40.73㎡	0.29

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　20.37百万円
修繕費：　5.49百万円

大江堀6号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	30.8㎡	0.18
				ひび割れ補修	10.78m	0.11
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.15㎡	0.39
				足場工	30.8㎡	0.22
2023	予防保全	更新	高欄・防護柵	交換	17.6m	1.23
		更新	地覆	打換え	4.2㎡	0.19
		更新	舗装	打換え	30.8㎡	0.22

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　15.4百万円
修繕費：　4.3百万円

大江堀7号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用

※今後5年間の補修・更新の予定はありません。

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　9.6百万円
修繕費：　2.63百万円

大江堀10号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用

※今後5年間の補修・更新の予定はありません。

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　13.2百万円
修繕費：　6.74百万円

五間堀左岸1号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	更新	伸縮装置	交換	5.28m	1.06
		更新	高欄・防護柵	交換	10.56m	0.74
		更新	地覆	打換え	13.68㎡	0.63
		更新	舗装	打換え	60.19㎡	0.42
2023	予防保全	補修	床版	ひび割れ補修	21.07m	0.21
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.3㎡	0.77
				足場工	60.19㎡	0.48
2026	予防保全	補修	下部工	表面保護	31.68㎡	0.16
				ひび割れ補修	11.09m	0.12
				断面修復（ポリマー系モルタル）10～15%補修	0.24㎡	0.61
				足場工	15.84㎡	0.06

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　45.14百万円
修繕費：　16.7百万円

大江堀5号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	31.9㎡	0.19
				ひび割れ補修	11.16m	0.11
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.16㎡	0.41
				足場工	31.9㎡	0.22
2023	予防保全	更新	高欄・防護柵	交換	11.6m	0.81
		更新	地覆	打換え	6.6㎡	0.30
		更新	舗装	打換え	31.9㎡	0.22

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　15.95百万円
修繕費：　3.71百万円

大江堀2号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用

※今後5年間の補修・更新の予定はありません。

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　18.69百万円
修繕費：　3.98百万円

槻木五間堀17号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	113.8㎡	0.68
				ひび割れ補修	39.83m	0.40
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.57㎡	1.45
				足場工	113.8㎡	0.80

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　56.9百万円
修繕費：　5.百万円

大江堀13号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用

※今後5年間の補修・更新の予定はありません。

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　19.7百万円
修繕費：　9.89百万円

大江堀14号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	55.16㎡	0.33
				ひび割れ補修	19.31m	0.19
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.28㎡	0.70
				足場工	55.16㎡	0.39

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　27.58百万円
修繕費：　6.8百万円

地区外排水路2号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2026	予防保全	補修	主桁	表面保護	37.82㎡	0.23
				ひび割れ補修	13.24m	0.13
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.19㎡	0.48
				足場工	37.82㎡	0.26

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　18.91百万円
修繕費：　4.05百万円

地区外排水路1号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2023	予防保全	補修	主桁	表面保護	56.76㎡	0.34
				ひび割れ補修	19.87m	0.20
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.28㎡	0.72
				足場工	56.76㎡	0.40

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　28.38百万円
修繕費：　5.29百万円

槻木五間堀14号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	更新	高欄・防護柵	交換	9.8m	0.69
		更新	地覆	打換え	5.52㎡	0.25
		更新	舗装	打換え	22.54㎡	0.16

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　11.27百万円
修繕費：　3.92百万円

倉元排水路1号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用

※今後5年間の補修・更新の予定はありません。

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　9.09百万円
修繕費：　3.28百万円

五間堀左岸2号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用

※今後5年間の補修・更新の予定はありません。

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　10.58百万円
修繕費：　3.21百万円

船迫在低地幹線排水路1号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	11.2㎡	0.07
				ひび割れ補修	3.92m	0.04
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.06㎡	0.14
				足場工	11.2㎡	0.08

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　5.6百万円
修繕費：　4.24百万円

五間堀右岸3号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	部分塗装塗替工（1種ケレン）25%塗装	7.56㎡	0.14
				足場工	30.㎡	0.21

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　24.百万円
修繕費：　1.13百万円

稲荷山用水路4号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用

※今後5年間の補修・更新の予定はありません。

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　16.4百万円
修繕費：　4.59百万円

稲荷山用水路3号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用

※今後5年間の補修・更新の予定はありません。

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　5.4百万円
修繕費：　1.92百万円

五間堀低排3号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	73.84㎡	0.44
				ひび割れ補修	25.84m	0.26
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.37㎡	0.94
				足場工	73.84㎡	0.52
2023	予防保全	更新	高欄・防護柵	交換	10.4m	0.73
		更新	地覆	打換え	17.04㎡	0.78
		更新	舗装	打換え	73.84㎡	0.52

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　36.92百万円
修繕費：　6.29百万円

五間堀低排2号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	60.84㎡	0.37
				ひび割れ補修	21.29m	0.21
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.3㎡	0.78
				足場工	60.84㎡	0.43
2022	予防保全	更新	高欄・防護柵	交換	7.8m	0.55
		更新	地覆	打換え	18.72㎡	0.86
		更新	舗装	打換え	60.84㎡	0.43

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　30.42百万円
修繕費：　5.43百万円

五間堀低排1号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	104.㎡	0.62
				ひび割れ補修	36.4m	0.36
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.52㎡	1.33
				足場工	104.㎡	0.73
2022	予防保全	更新	高欄・防護柵	交換	10.4m	0.73
		更新	地覆	打換え	24.㎡	1.10
		更新	舗装	打換え	104.㎡	0.73

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　52.百万円
修繕費：　8.11百万円

平堀8号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2022	予防保全	更新	伸縮装置	交換	3.m	0.60
		更新	高欄・防護柵	交換	6.m	0.42
		更新	地覆	打換え	5.1㎡	0.23

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　9.56百万円
修繕費：　3.35百万円

平堀3号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用

※今後5年間の補修・更新の予定はありません。

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　59.02百万円
修繕費：　36.26百万円

平堀10号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	40.46㎡	0.24
				ひび割れ補修	14.16m	0.14
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.2㎡	0.52
				足場工	40.46㎡	0.28

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　20.23百万円
修繕費：　5.45百万円

平堀2号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用

※今後5年間の補修・更新の予定はありません。

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　57.29百万円
修繕費：　35.27百万円

槻木五間堀13号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	58.05㎡	0.35
				ひび割れ補修	20.32m	0.20
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.29㎡	0.74
				足場工	58.05㎡	0.41

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　29.02百万円
修繕費：　6.65百万円

新町都市下水路1号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	28.84㎡	0.17
				ひび割れ補修	10.09m	0.10
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.14㎡	0.37
				足場工	28.84㎡	0.20

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　14.42百万円
修繕費：　4.33百万円

東船岡跨線道路橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	59.08㎡	0.35
				ひび割れ補修	20.68m	0.21
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.3㎡	0.75
				足場工	59.08㎡	0.41

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　29.54百万円
修繕費：　11.92百万円

東船岡跨線道路橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	189.5㎡	1.14
				ひび割れ補修	66.32m	0.66
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.95㎡	2.42
				足場工	189.5㎡	1.33

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　94.75百万円
修繕費：　19.32百万円

中曽根下水路3号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅰ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用

※今後5年間の補修・更新の予定はありません。

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　11.64百万円
修繕費：　2.01百万円

船岡旧用水路2号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	22.32㎡	0.13
				ひび割れ補修	7.81m	0.08
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.11㎡	0.28
				足場工	22.32㎡	0.16

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　11.16百万円
修繕費：　3.81百万円

上川名堀6号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	41.16㎡	0.25
				ひび割れ補修	14.41m	0.14
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.21㎡	0.52
				足場工	41.16㎡	0.29
		補修	下部工	表面保護	44.69㎡	0.22
				ひび割れ補修	13.64m	0.15
				断面修復（ポリマー系モルタル）10～15%補修	0.29㎡	0.75
				足場工	19.49㎡	0.08

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　20.58百万円
修繕費：　10.45百万円

上川名堀7号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	27.6㎡	0.17
				ひび割れ補修	9.66㎡	0.10
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.14㎡	0.35
				足場工	27.6㎡	0.19
		補修	床版	ひび割れ補修	9.66m	0.10
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.14㎡	0.35
				足場工	27.6㎡	0.22
		補修	下部工	表面保護	31.2㎡	0.16
				ひび割れ補修	9.24m	0.10
				断面修復（ポリマー系モルタル）10～15%補修	0.2㎡	0.50
				足場工	13.2㎡	0.05

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　20.7百万円
修繕費：　9.18百万円

船岡旧用水3号橋　個別施設計画

1. 対象施設

柴田町が管理する橋梁は、令和3年2月18日現在 153橋あり、橋長2m以上15m未満は140橋、橋長15m以上は13橋あります。

（単位：橋）

管理橋梁数		153
	2m ≦ 橋長 ＜ 15m	140
	15m ≦ 橋長	13

2. 計画期間

定期点検（5年に1回）サイクルを踏まえ、予防保全型、対症療法型の修繕等を考慮し計画期間を設定する。

・令和3年度～令和8年度（5年後）

3. 対策の優先順位の考え方

・点検結果に基づく施設全体の判定区分
・各部材の損傷程度
・緊急輸送路や跨ぐ施設等の橋梁の重要度
・利用者や第三者への影響度

上記要件から総合的に優先順位を判断する。
優先順位については、新たな点検結果等により必要に応じた見直しを実施する。

4. 個別施設の状態等

点検・診断年度　：　令和2年度
判定区分　：　Ⅱ
判定区分Ⅲ以上の各部材　：　なし

5. 対策内容と実施時期

※予算状況、その他施設の点検結果により変更する可能性あり
当面5年間の対策内容　（単位：百万円）

対策計画						
実施年	分類	種別	部材	工法	概算数量	概算費用
2021	予防保全	補修	主桁	表面保護	13.27㎡	0.08
				ひび割れ補修	4.64m	0.05
				断面修復（ポリマー系モルタル）10%補修	0.07㎡	0.17
				足場工	13.27㎡	0.09
		補修	下部工	表面保護	14.19㎡	0.07
				ひび割れ補修	3.m	0.03
				断面修復（ポリマー系モルタル）10～15%補修	0.06㎡	0.16
				足場工	4.29㎡	0.02

6. 対策費用

※上記参照

架替と修繕費（架設後100年まで）のコスト比較
架替費：　6.63百万円
修繕費：　2.59百万円